

せせらぎ SeSeragi



漢方のよさ No.110 号 ～腰痛Ⅱ～

発行日：2014年5月5日(月)

発行者：浮田 徹也

発行所：医療法人 せせらぎ会 浮田クリニック

〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1

☎077-574-3751 ☎077-574-3792

HP: <http://www.ukita.gr.jp>

✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

開院7ヶ月目に入った。4月より、月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、土曜日は副院長と2人体制で診療し、木曜日は、副院長が京大病院で産科外来を担当する関係で、午前11時まで2人体制で外来をする。土曜日は、女医外来を担当する浮田恵医師と副院長の3人体制で診療するが、隔週毎に京大病院の女性医師も当院の外来を担当するので、隔週毎に4人体制の外来となる。土曜日は3倍のペースでの診療なので患者さまの待ち時間はより短時間だ。今後、診療体制を充実させ、産科(妊婦健診)外来、婦人科外来、不妊外来、更年期(アンチエイジング)外来、小児科外来、漢方外来を独立させる計画である。さて、5月は芝桜、ツツジ、カキツバタ、フジ、ボタン、シャクナゲ、シャガ等の花が咲く季節だ。中でも気品ある「フジ」は格別だ。淡い紫色の、垂れ下がる花房はあでやかで優雅で、王朝貴族の屋敷にとっても似合う。貴族たちは、平安末法思想が唱えられる中、極楽浄土をこの世に再現しようと、フジの花の力をも借りて、浄土さながらの空間を作りだしたことが想像される。宇治の平等院は、藤原頼道が別荘を改めて寺とし、鳳凰堂を中心に池をめぐらした浄土式庭園出有名だ。もうそろそろ、樹齢200年のフジが、長い花房を幾千と垂れ下げるころだ。私も時間があれば、このフジのパワーを浴びてきたい。

腰痛のお話です。

漢方治療中心のクリニックなので、何年も前からの腰痛など、慢性腰痛に悩まされ、「漢方薬で何とか痛みを取ってほしい。あちこちの整形外科で、鎮痛剤、ブロック注射、関節内注射等いろいろな治療を受けました。それでもスッキリしません。手術しないで何とか治してくれ。」と無理難題を言って来院する方が少なくない。整形外科の慢性痛の主な原因は、ほとんど変性疾患、言い換えれば、老化現象だ。老化と言えば高齢者と思うかもしれないが、骨・軟骨は30歳から若さを失って老化に向かう、また、外傷(打撲)等で、老化と同じ変性が生じるので、中年者や若者もこの範囲に入る。また、X線やMRIの画像では問題があっても症状のない人、画像上問題がなが症状を訴える人もいる。痛い痛いと言っても、旅行中はほとんど痛まない人もいる。漢方薬の処方、風・寒・湿・熱等の外邪や内邪、気・血・水の運行障害、胃腸(脾胃)障害、腎障害、精神的ストレス、加齢による影響等を診断し、また、生活や食習慣や性生活も聞きながら決定する。中には、ほとんど漢方薬の効かないタイプもある。特に、ヒステリー(てんかん性障害)のように、体調不良を伴う痛みで、漢方薬が効きそうでも、さっぱり効かず、湿布や塗り薬の方がよく聞くと訴える場合がある。

また、リウマチ性多発筋痛症のように、微熱、食欲不振、全身倦怠感、抑鬱症状、頭痛、肩痛、背痛、腰痛等を訴える場合だ。数ヶ月或は何年もの痛みが、漢方薬で1週間程度で消失する場合もあるが、皆が皆そんなに効くとは限らない。漢方薬は魔法ではない。でも、十分に患者さまの話に耳を傾け、胃がもたれる、食欲がない、下痢する、冷える、むくむ、頭痛がする、眠れない、便秘する、痺れる、痛い、動かない、寝つけない、めまいがする、動悸がする等の症状を少しでも和らげ、全人



ニンフェンブルグ城



大広間シュタイネ・ザール(ニンフェンブルグ城)

ニンフェンブルグ城(ミュンヘン)(バイエルン王国(ウィッテルスバッハ家)の夏の離宮で、「妖精の城」と呼ばれる。城の門から人工の堀がめぐらされ白鳥が年中泳いでいる。ロココ式大広間の天井画の素晴らしい。ルートヴィヒⅡ世が愛した美女36人の肖像画がかけられた美人画ギャラリーも圧巻。その他、ルートヴィヒⅡ(ノイシュヴァンシュタイン城を築城)誕生の間や幼少時の金細工の豪華な馬車も目を引く。

大広間天井の女神フォロアのフレスコ画が有名(ニンフェンブルグ城内)

的な治療を試みて、腰痛を少しでも軽減しようと日夜診療に当たっている。患者さまと共に腰痛に立ち向かっていきたい。
では**実例**に移ります。

60歳女性、腰痛と冷え。3年前、**腰痛（椎間板ヘルニア）**と診断されたが手術は受けていない。153 cm、54 kg。顔色不良、お腹は緊張傾向、心下支結（両側腹直筋緊張）、下腹部軟弱。脈は沈遅。舌は暗紅色、湿薄白苔、舌下静脈怒張。そこで、柴胡桂枝湯＋八味丸＋附子を処方。3ヶ月後、腰痛と冷え改善。その後、服用していると痺れも改善するので続服中。

36歳女性、**不妊症**、倦怠感、下痢傾向、月経前の頭痛とむくみ。7年前結婚したが、人工授精と体外受精をしたが、子供に恵まれない。月経周期35日（排卵＋）、卵管通過障害（－）、夫精子正常。顔は両頬やや赤く、お腹の硬さ中程度、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、両側臍傍抵抗圧痛。脈は弦細緩。舌、淡暗紅色、乾薄白苔、舌下静脈怒張。そこで、柴胡桂枝湯＋人參湯＋桂枝茯苓丸＋附子を処方。5ヶ月後、上腹部緊張低下したので、人參湯＋当歸芍薬散＋附子＋紅参に変更。6ヶ月後妊娠。妊娠中、当歸芍薬散を続け、妊娠37週5日、2800g、男児を出産。

25歳女性、**過敏性大腸**、外出時や食べ過ぎると下痢又は軟便、156 cm、47 kg、生理前にも下痢傾向、月経痛、食欲良好。顔色は良好。お腹は中程度、胸脇苦満、両側腹直筋緊張（上下腹部）、臍傍抵抗圧痛、舌は淡紅色、乾薄白苔、舌下静脈軽度怒張。そこで、柴胡桂枝湯、桂枝加芍薬湯を処方。3ヶ月後、下痢傾向改善してきた。4ヶ月後、月経痛消失。服薬継続中。

33歳女性、**眼精疲労**、便通3日に1回。食欲良好。良眠。顔はやや青白い。お腹は中程度、胸脇苦満、臍上悸、臍傍抵抗圧痛、臍下不仁、舌は暗紅色、乾薄白苔、舌下静脈軽度怒張。そこで、補中益気湯、八味丸、大黄末を処方。4ヶ月後、目の疲れ、体の倦怠感、腰痛、便通等改善。3年後、症状改善し廃業。

[院長]

不妊症

女性側の原因は排卵障害が主で、視床下部の機能低下、高プロラクチン血症、多嚢胞性卵巣などがあります。また、男性側の原因は造精機能低下で、精子濃度の低下や精子運動能などでストレス。東洋医学的には、微小循環障害（瘀血）、胃腸障害（脾虚）、ストレスや情緒異常（肝鬱）、むくみ（水毒）などがあります。その他、子宮筋腫、卵管通過障害、感染症（クラミジアなど）・・・の診断治療もしています。



過敏性大腸

「心」と「小腸」は表裏の関係にあり、「こころ」の苦痛が「腸」に表れます。「下痢タイプ」「便秘タイプ」「下痢便秘交替タイプ」があり、感情（怒り）、漢方薬で緊張（ストレス）、冷え、水毒（むくみ）を調整し、規則正しい生活スタイルを取り戻すように工夫（努力）してください。漢方処方だけでなく、生活指導も取り入れています。



眼精疲労

眼の疲労、視力低下、複視、眼痛、頭痛、肩こり、悪心、嘔吐などの症状を自覚します。眼科疾患（緑内障、角膜炎、結膜炎、遠視、乱視、老眼、シェーグレン症候群）、副鼻腔炎、更年期障害、うつ病などを見逃さないことが大切で、気血水を調え、五臓を調整する漢方薬が有効です。



当院の漢方治療

剤型

エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。

漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。25～30分煮て作ります。当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫（冷凍庫）で保管して下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害…などすべての症状。

漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病…

漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用…

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が向こう：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診察法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、痰膿分泌物、心電図、骨量測定…

妊婦健診 携帯またはパソコン予約

この度、当クリニックではWEB（携帯・PC）予約システムを導入しています。午前診・午後診の「順番取り」となります。

（時間指定の予約ではありません。）
「妊婦検診」のみ予約をお取りいただけます。

妊婦健診WEB予約受付時間

午前9：15～午後12：15
午後4：45～午後6：45

ご来院窓口受付時間

午前8：30～午後12：30
午後4：30～午後7：00

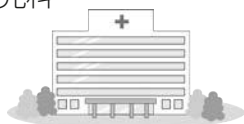


※受付時間内であればWEB予約終了後でも来院窓口受付をさせていただきますが、予約の方が多い場合は待ち時間が長くなる事があります。

※予約の方は余裕を持ってご来院ください。

提携病院との密な連携診療

- 当院は、
- ・大津赤十字病院 産婦人科、新生児科
 - ・大津市民病院 産婦人科
 - ・滋賀医科大学付属病院
 - ・京都大学医学部付属病院
 - ・京都第一赤十字病院 産婦人科



の病院と提携していますので、妊婦さんや赤ちゃんに何かあればすぐに連携して診察に当たりますのでご安心ください。

漢方入浴剤

- ・美芳湯（ひほうとう）：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯（しょうりゅうとう）：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

マタニティーヨガ

マタニティーヨガのインストラクターによる教室で実施されています。4階のお部屋からの景色もお楽しみください。

当院分娩の方：1000円、他院分娩の方：1500円

アトピー軟膏 健康食品（グルコサミン、コンドロイチン、のどアメ）

漢方薬（生薬）のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏・葉酸（鉄）・霊芝・サメ軟骨・快步楽
- ・のどアメ（ハーブ イチゴ）

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス…などの治療に利用しています。

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ、BCG、四種混合（DPT-IPV）、三種混合（DPT）、麻しん・風しん（MR）、日本脳炎、水ぼうそう、ポリオ、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib（インフルエンザ菌b型）、肺炎球菌ワクチン（小児用 プレベナー）（高齢者）、その他

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

従業員募集

看護師、助産師（常勤、パート）、清掃業務従業員。
面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。

外来診察時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~12:30	○	○	○	○	○	○	—
14:00 ~15:30	産後健診 予防接種 胎児スクリーニング外来	—	産後健診 予防接種 胎児スクリーニング外来	—	—	—	—
16:30 ~19:00	○	—	○	—	○	—	—

女性医師外来（土曜日）：浮田 恵医師と京大病院の女性医師が毎週土曜日に女医外来を担当しています。

4月より胎児スクリーニング外来が始まっています。（月・水曜日 14:00～15:30 1名/20分 予約制）

当院分娩予約の方 3000 円 他院分娩予約の方 5000 円

マタニティクラスのご案内

場所：当院 4 階 多目的ルーム

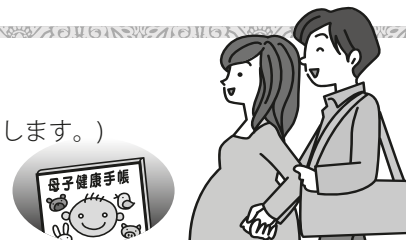
申込方法：申込ノートでご予約お願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。（申込ノートにお名前を記入をお願いします。）

マタニティクラスでは院内冊子の「HELLO BABY」にそって、お話をすすめていきます。

ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。

参加時には「HELLO BABY」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



マタニティヨガ
14:30-16:00

5月15日(木)

6月12日(木)・19日(木)

前期-マタニティクラス
13:30-15:30

5月17日(土)
6月14日(土)

後期-マタニティクラス
13:30-15:30

5月22日(木)
6月26日(木)

黄帝

姓は周、軒轅氏または有熊氏、小典氏の子、周辺の部族を治め、神農氏や蚩尤氏をも撃退し、中原（黄河の中下流、中国の中央部）を統一し、華夏族の始祖と崇められ「黄帝」と言われた。生産技術や文化の面で多くの発明や工夫がなされた。玉石を用いて武器、木星の船や車、木製の家屋、妃は養蚕、史官の倉頡は漢字、帝師の大撓は干支、臣下の伶倫は楽器、伯余は衣装を作った。特に中国医学の始祖「黄帝内経」は、黄帝と岐伯（侍医）の間答である。また、岐伯の師「儋季貸」は望診と脈診、臣下「雷公」は鍼術、臣下「桐君」は薬物妻子に優れていた。



分娩予約

妊娠 20 週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩・入院予約申込書**が必要です。予約された方には、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡しします。

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・ トップページ（お知らせの欄、診療日程カレンダー）
- ・ 産科と婦人科のページ（入院、食事、各種教室、指導）
（癌検診、不妊症、更年期障害）
- ・ 漢方治療のページ（漢方治療）
- ・ 各検診と予防接種のページ（健診、ブライダルチェック、予防接種）
- ・ 当院の施設案内、当院への交通（車、JR）

産後相談 母乳相談（助産師）

産後相談と母乳相談（有料）（乳房マッサージ）をしています。
午後 2 時～2 時 30 分、2 時 30 分～3 時、3 時～3 時 30 分。
日程はホームページでお確かめください。（電話予約可）

産後健診 ベビー健診

産後健診と 1 ヶ月、2 ヶ月、3 ヶ月健診（有料）・4 ヶ月児健診（公費）
をしています。日時：毎週月、水曜日 午後 2 時～3 時（電話予約）

分娩生活

正常分娩の場合、入院日を含め、初産婦の方は 6 日間、経産婦の方は 5 日間です。当院では立会い分娩を推奨しています（帝王切開を含む）。調乳及び飲み水は還元水を使用しています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠 19～22 週（母体と赤ちゃんの状態をチェックします）にスクリーニング外来にて診察いたしますので、ご予約をお願いいたします。当院での妊婦健診は妊娠 34 週から受けてください。

入院食（手作り）

厨房スタッフの作る心のこもった手作り料理です。旬の素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。パンも焼き立てを用意します。退院前日、当院 4 階のレストランでディナーをお楽しみください。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています（妊娠 16～22 週）。詳細は受付でお聞きください。